



ひょうのせんさんろく 氷ノ山山麓

再生 目標

氷ノ山とその周辺地域で育まれた雄大かつ繊細な自然を保全するとともに劣化が進行する以前の状態を目標に再生する

DATA

エリア：氷ノ山後山那岐山国定公園
所在地：兵庫県養父市、美方郡香美町、新温泉町
着手：H16

氷ノ山周辺地域保全・再生活動協議会

概要：湿原やススキ草原など、貴重な自然生態系を有する地域を保全・再生するとともに、普及・啓発、交流促進に向けた各種活動を行う。



スギ人工林



湿地の乾燥化



ミツガシワ群落の衰退



灌木の侵入（大沼）

氷ノ山山麓地域は、氷ノ山を中心に1,000 m級の山が連なる地域で、ヤチスゲやエゾリンドウなどの北方系の亜高山植物が生育する湿原や、ウスイロヒヨウモンモドキ、オキナグサなどの貴重な動植物が生息・生育するススキ草原等がみられます。

しかし、大沼湿原などの湿原では、乾燥化により灌木が侵入し、湿地植物群落が衰退しています。また、鉢伏山周辺のススキ草原は、スキー場管理の草刈等によって維持されていますが、希少種の生息範囲は一部に限定されています。このため、希少動植物の乱獲防止や草原の維持管理手法等、自然生態系の保全・再生に向けた取組みを進めています。



ウスイロヒヨウモンモドキ

自然再生の手法

- ▶ スギ人工林をブナ林へ復元→①
- ▶ ススキ草原の復元→②
- ▶ 灌木の侵入により劣化した草原環境の復元→③

氷ノ山山麓地域の湿原およびススキ草原等に関する基礎データの収集・分析とともに、現況調査、ブナ林への復元実証試験、ススキ草原維持管理手法の検討等を行っています。

① ブナ林への復元実証試験

スギ人工林をブナ林に復元するため、スギ人工林を帯状に伐採し、ブナ稚樹の植栽、種子の播種等による実証実験を行っています。植栽したブナの稚樹にはウサギの食害防止のためのネットを設置しています。



ブナ林への復元実証試験

② ススキ草原維持管理手法の検討

上山高原では、かつては人為的な管理のもとにススキ草原が維持されてきましたが、近年、刈り取り等の管理が行われずササや灌木がススキ草原に侵入しています。このため、侵入したササの刈り取りや灌木の伐採などを行っています。



ササの除去作業

③ 湿原に侵入した灌木の除去

湿原植物の生育に必要な光量を確保すること等を目的に、イヌツゲ等の灌木類を伐採・除去し、湿原植生の再生を図るための管理作業を実施しています。



灌木の除去作業

関連ホームページ

上山高原エコミュージアム：<http://www.ueyamakogen-eco.net/>